

特別支援教育における養護教諭の役割に関する研究(2)

—養護教諭と特別支援教育との関係について—

○石橋 裕子 小杉 幹子 林 幸範 林 廣徳

(帝京科学大学) (NPO人間科学研究所) (こども教育宝仙大学) (白梅学園大学大学院こども研究科)

1. 目的

本研究は、養護教諭の特別支援教育における役割や校内での位置づけ等を明確にするために、(1)で実施した調査のうち、「養護教諭と特別支援教育との関係」について報告をする。

2. 方法

方法の詳細…「特別支援教育における養護教諭の役割に関する研究(1)」を参照。

3. 結果

(1)勤務校での特別支援教育の対象児童生徒((一般学校)のみ)…『現在いる』84.1%・『現在はいないが過去にいた』4.4%・『現在はいない』10.3%。現在いる人数(n=286)は、『1~9人』45.1%・『10~19人』28.3%・『20~29人』8.0%の順(平均14.1人、最小1人~最大100人)。対象児童生徒の割合は、『0.1~0.9%』31.5%・『1.0~1.9%』26.2%・『2.0~2.9%』14.3%の順(平均2.2%、最小0.1%~最大13.6%)。文部科学省の調査の結果の『6.3%未満』91.3%・『6.3%以上』4.5%。

(2)勤務校での特別支援教育対象の児童生徒((一般学校)のみ)…①対象児童数より多いか少ないか:『とても多い』2.9%・『多い』27.4%・『同じぐらい』18.5%・『少ない』18.2%・『いない』10.6%。②対象児童生徒の決定法(複数回答):『保護者から同意が得られて、対象になった』55.9%・『保護者の申し出から対象となった』47.4%・『保護者からの同意が得られなかったが、学校側との話し合いの結果対象となった』21.5%の順。

(3)勤務校で実施している特別支援教育(複数回答)…(一般学校)『校内委員会の設置』85.3%・『特別支援教育コーディネーターの指名』83.5%・『個別の指導計画の作成』56.8%の順。[特別支援学校]『福祉職や医療関係者など他職種との連携』79.6%・『他職種との連携』73.7%・『他職種の教員に対する特別支援教育に関する研修の実施』『地域との連携』各72.3%の順。**(4)特別支援教育での各教職員との連携(『ある』の%)**…①同学年の担任教諭:(一般学校)83.2%。②管理職と担任教諭:(一般学校)80.3%。③担任教諭と管理職・養護教諭以外の教職員:(一般学校)62.9%。④養護教諭と担任教諭:(一般学校)82.9%。[特別支援学校]96.4%。⑤養護教諭と管理職:(一般学校)69.4%。[特別支援学校]92.7%。⑥養護教諭と管理職・担任教諭以外の教職員:(一般学校)64.1%。[特別支援学校]83.9%。⑦スクールカウンセラーと養護教諭:(一般学校)59.7%。[特別支援学校]5.1%。⑧スクールカウンセラーと教職員:(一般学校)55.0%。[特別支援学校]8.8%。

(5)勤務校での特別支援教育に熱心な先生の存在((一般学校)のみ)…『とても多い』3.8%・『多い』36.8%・『少ない』39.4%・『ほとんどいない』5.9%・『いない』3.2%。

(6)勤務校で不十分に感じている特別支援教育(複数回答)((一般学校)のみ)…『特別支援教育に対する人的配置』42.9%・『特別支援教育への保護者の理解』37.9%・『教員の負担軽減』35.3%の順、『不足しているものは別でない』5.0%。

(7)本務校と文科省調査との比較…①学習面か行動面で著しい困難を示す児童生徒は6.3%より:(一般学校)『とても多い』5.3%・『多い』26.5%・『同じぐらい』28.5%・『少ない』20.3%・『極めて少ない』10.6%。[特別支援学校]『とても多い』7.3%・『多い』32.1%・『同じぐらい』19.0%・『少ない』8.0%。②学習面で著しい困難を示す児童生徒は4.5%より:(一般学校)『とても多い』4.7%・『多い』30.3%・『同じぐらい』25.6%・『少ない』18.2%・『極めて少ない』10.9%。[特別支援学校]『とても多い』5.8%・『多い』33.6%・『同じぐらい』18.2%・『少ない』6.6%・『極めて少ない』0.7%。③行動面で著しい困難を示す児童生徒は2.9%より:(一般学校)『とても多い』9.1%・『多い』25.3%・『同じぐらい』28.8%・『少ない』17.6%・『極めて少ない』10.0%。[特別支援学校]『とても多い』11.7%・『多い』30.7%・『同じぐらい』14.6%・『少ない』10.2%。④学習面と行動面ともに著しい困難を示す児童生徒は1.2%より:(一般学校)『とても多い』6.2%・『多い』29.7%・『同じぐらい』26.5%・『少ない』15.0%・『極めて少ない』12.9%。[特別支援学校]『とても多い』8.8%・『多い』27.7%・『同じぐらい』20.4%・『少ない』7.3%・『極めて少ない』1.5%。

(8)勤務校で自分がかかっている特別支援教育…①勤務校で担っている特別支援教育の役割(複数回答)…(一般学校)『1.特別支援教育コーディネーター』8.5%・『2.校内委員会』65.0%・『1.~2.ではないが個別に対応』14.4%・『校務分担(保健など)』38.2%・『役割は担っていない』7.1%。[特別支援学校]『1.特別支援教育コーディネーター』0.7%・『2.校内委員会』30.7%・『校務分担(保健など)』59.1%・『役割は担っていない』5.8%。

②勤務校での特別支援教育にかかっている程度((一般学校)のみ)…『積極的にかかっている』16.8%・『かかっている』28.2%・『ふつう』43.2%・『かかっていない』7.9%・『全くかかっていない』1.2%。

③勤務校で実施している特別支援教育(複数回答)((一般学校)のみ)…『校内委員会』67.4%・『特別支援教育に関する教員研修への参加』55.3%・『事例検討会への参加』(48.5%)の順。**(9)現在の特別支援教育で不足や不十分さを感じていること(複数回答)…(一般学校)**『教員の負担軽減』38.8%・『特別支援教育に対する人的配置』35.3%・『特別支援教育への保護者の理解』32.1%の順。[特別支援学校]『福祉職や医療関係者など他職種との連携』27.7%・『スクールソーシャルワーカー』27.0%・『発達障害の実態把握』24.8%の順。

4. 考察・まとめ

以上のことから、一般学校の養護教諭よりも特別支援学校の養護教諭の方が、行動面・学習面で著しい困難を示す児童生徒の割合が文科省調査の割合より高いと思っている。一般学校の養護教諭は、教員達の負担が重いことや保護者の理解、特別支援学校の養護教諭は、福祉職などとの連携が希薄であることや発達障害の実態把握などに問題点を感じている。